

介護支援専門員研修 演習ファシリテーター候補者推薦に当たってのQ&A

令和3年5月14日時点
東京都福祉保健局介護保険課

Q1. 演習ファシリテーターとはどのようなことをするのか。

A1. 演習の際に各グループに配置され、グループ演習での議論に対して中立な立場を保ちながら話し合いに介入し、議論をスムーズに調整しながら合意形成や相互理解に向けて深い議論がなされるよう調整する役割を担っていただきます。

Q2. ファシリテーターを引き受けた場合に、どの程度時間がとられるのか？

A2. 本来業務の妨げにならない程度で構いませんが、年2回以上参加可能な方の推薦をお願いいたします。日程調整等は各研修実施機関が行います。

Q3. 事前にオリエンテーション等はしてもらえるのか？

A3. 事前にファシリテーター向けの研修会等を研修実施機関が実施する予定です。

Q4. 謝金はでるのか？

A4. 研修実施機関がお支払いします。

Q5. どのような研修があるのか。

A5. 対象研修及び研修実施機関は以下のとおりです。

研修名	研修実施機関
介護支援専門員実務研修 介護支援専門員更新研修 介護支援専門員再研修 介護支援専門員現任研修（専門研修Ⅰ課程）	公益財団法人 東京都福祉保健財団
介護支援専門員現任研修（専門研修Ⅱ課程）	公益財団法人 総合健康推進財団
主任介護支援専門員研修 主任介護支援専門員更新研修	特定非営利活動法人 東京都介護支援専門員研究協議会

Q6. 研修オンライン化はいつから実施予定か？

A6. 令和4年度から本格実施予定ですが、一部科目については、令和3年度からオンライン演習の実証や先行実施等を行う予定です。なお、オンライン演習開始に先立ち、ファシリテーター向けの研修会等を実施する予定です。

Q7. オンライン演習はどのように行われる予定か。

A7. オンライン研修の演習は、Web 会議ツール（Zoom 等を想定）を使用して行い、研修受講者全体がまとまって講師からの説明や全体発表等を行うほか、受講者がグループ（ブレイクアウトルーム）に分かれてグループディスカッションを行うことを予定しております。

Q8. オンライン演習において、ファシリテーターにはどのような役割が求められるか。

A8. 今後の演習試行実証等により検討を行う予定のため、現時点での想定となりますが、グループディスカッションにおいて、集合研修と同様、各グループの話し合いへの介入等を行い、受講者の発言を促し、議論を進行して、論点や結論を整理することが必要となります。また、講師から示されたグループワーク課題や、受講者が提供する検討資料（例：事例資料、事前検討課題など）をグループ内に画面共有などの方法で共有する役割を担うことも想定されます。

Q9. オンライン演習にファシリテーターとして参加するために必要となる機器や環境はどのようなものか。

A9. オンライン演習の実施方法については今後検討を行いますが、オンライン演習のファシリテーターは、一般的にカメラ付きパソコン（カメラは外付け可）、ヘッドセットまたはイヤホンマイクを使用し、また雑音が入らない個室からの参加が必要と想定されます。必要な機器や環境については、ファシリテーターご自身でご用意いただくこと（勤務先の機器等を使用することを含みます。）を想定しておりますが、用意できない場合の対応については、実施方法と合わせて今後検討を行う予定です。